

第36回交通安全子ども自転車菊池地区大会

6月27日(土)

交通安全子ども自転車大会が菊池体育センターで行われ、菊池警察署管内の小学校から11チーム58人が参加しました。

選手たちは、交通規則など学科試験を受けた後、S字カーブの片手運転やジグザグ進行など6種の実技試験を行い、コースをはみ出したりしないよう慎重かつ真剣に運転をしていました。

今大会は例年以上の接戦となりましたが、団体部門で龍門小が6連覇を果たし、また個人戦でも5位以内に2人が入賞する成果をあげました。

なお、上位の結果は次の通りです。(敬称略)

団体の部

- 優勝 龍門小A
- 2位 花房小B
- 3位 旭志小A

個人の部

- 優勝 渡辺伸広 (龍門小A5年)
- 2位 植原夏織 (花房小B6年)
- 3位 田代颯斗 (泗水小A6年)
- 4位 富田憂汰 (龍門小A6年)
- 5位 園原優斗 (旭志小B5年)



でこぼこ道の試験を受ける選手

ふるさとの方言で語る昔話

6月29日(月)

語り部として全国を回っている福島県の横山幸子さんが、菊池夢美術館で福島県の昔話を披露してくれました。

海外でも活躍するほか、文部科学大臣賞をはじめ、さまざまな賞を受賞している横山さんは、77歳を迎えた記念にとボランティアで全国各地を回っています。

「方言で話すことが大事」と身振り手振りを交えた方言で話す横山さんの語りに、訪れた参加者たちは引き込まれていき、小猿が母猿を思い助けようとする姿を語った「さるの親孝行」では涙をぬぐう姿も見られました。



横山さんの語りに引き込まれていく参加者たち

犯罪や非行の防止と更生への理解を

7月4日(土)

文化会館で第59回社会を明るくする運動菊池市集会が開催され、市民約750人が参加しました。「社会を明るくする運動」は、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な



保護司会代表による法務大臣からのメッセージ読

運動で、菊池市では市内各世帯からいただいた協力金を活動費として集会や街頭啓発運動を行っています。

集会では保護司



アトラクションでは菊池ひかり保育園児が合唱等を披露

会、更生保護女性会の活動報告、作文表彰・発表のほか、記念講演としてインターネット・ホットラインセンター副センター長の吉川誠司さんが「今、携帯を持つ子どもたちに起きている事実」と題して、携帯電話による犯罪から子どもを守るために保護者が心がけることについて講演しました。

菊池市管工事組合が奉仕作業

6月7日(日)

菊池市内の水道工事店で構成する「菊池市管工事組合」が水道施設の草刈作業を行いました。

これは6月1日(月)から7日(日)までの「全国水道週間」に合わせたボランティア作業で、市民の皆さんへおいしい水を届けるための施設を対象に毎年行っています。今年も、旭志の妻越に設置している「西部地区第一配水池施設」で実施しました。

水道水は、「安心」「安全」「安定」を基本としていますが、菊池市の水道水には、それに「おいしさ」も加わり、全国に誇れるものです。おいしい菊池の水を守るために、市民の皆さんも節水を心がけましょう。



草刈作業をする組合員たち

(社)日本農業法人協会会長に就任

6月22日(月)

有限会社ココファーム社長の松岡義博さんが、社団法人日本農業法人協会の会長に就任したことを報告するため福村市長を表敬訪問されました。本協会は、平成11年に農業生産法人などの経営確立・発展のための調査研究や提案・提言などの活動を進めることにより、我が国の農業・農村の発展と国民生活の向上に寄与することを目的に設立され、全国約1,700社の会員がいます。今回の就任は3代目の会長就任であり、九州・沖縄ブロックからの会長就任は初めてとなります。松岡さんは、「これからの農業は“熊本から全国へ”をキャッチフレーズに、精一杯頑張りたい」と抱負を述べられました。今後の活躍が期待されます。



今後の抱負を話す松岡さん(左)

べんりカー停留所にベンチ寄贈

6月17日(水)

菊池ライオンズクラブが、べんりカー停留所9カ所にベンチ10台を設置し、菊池市へ寄贈されました。

利用者の多い市街地巡回バスとして全国から注目されているべんりカーですが、利用者の多くは高齢者で、通院や買い物に利用されています。

そこでバスを待つ利用者に使ってもらおうと、4月に始まった定額給付金を元に、会員の皆さんから寄付を募り設置されました。

寄贈、ありがとうございました。

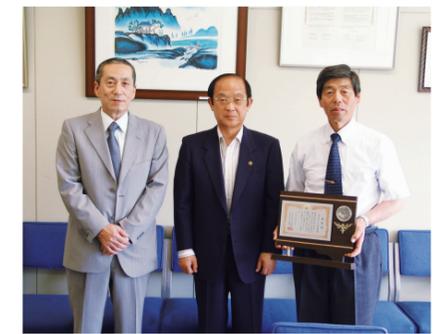


ベンチを寄贈した菊池ライオンズクラブ会員の皆さんと福村市長(前列中央)、熊本電鉄小田原部長(前列左)

泗水っ子すこやか育成会 県防犯功労団体受賞

泗水っ子すこやか育成会は、「地域の子は、地域で育てる」をモットーに、平成18年に各種団体の構成者で発足し、防犯マップの作成、老人会による毎日の児童の下校時の見守り、学校の各学期末や地域イベント時のパトロールなど、継続して実施しており、今回、多年にわたり、地域における防犯活動に尽力し、犯罪の予防に多大の功労があったとして、社団法人熊本県防犯協会連合会より、表彰されました。

福村市長を訪問した、久川会長は、「今回このような賞を受賞し、改めて活動の重みを感じる。これからも、今まで以上に、子どもたちの安全を維持していくため、会員とともに、精進していきたい」と話されました。



受賞の報告に訪れた久川会長(右)と内野副会長(左)